

令和 2 年第2回久米島町議会定例会一般質問

期日： 令和2年3月9日

令和2年第2回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1、第2次総合計画(基本計画)について	令和2年3月10日(火)
		2、海洋深層水施設増強について	
		3、農林水産業の活性化について	
		4、商工・観光産業の活性化について	
		5、人材シルバーセンター設立について	
2	宇江原 総清	1、鳥島射爆撃場の早期返還について	令和2年3月10日(火)
		2、真泊の避難道路について	
		3、島尻農村公園のトイレ改修について	
		4、世界自然遺産等指定について	
3	吉永 浩	1、平成31年度施政方針について	令和2年3月10日(火)
		2、第2次総合計画について	
		3、久米島町まち、ひとしごと創生総合戦略について	
		4、農業担い手育成について	
		5、清掃等作業員の労働時間と業務内容について	
4	真栄平 建正	1、赤土対策について	令和2年3月10日(火)
		2、観光振興について	
		3、施策方針について	
		4、出張時の法人マイレージ導入について	
5	新垣 幸子	1、乳幼児期の教育の質の向上について	令和2年3月10日(火)
		2、ファミリーサポートの活動の向上について	
		3、認定こども園の移行について	
		4、儀間地区農道の整備について	
		5、キャリア教育について	
		6、児童生徒のいじめや不登校等について	
6	盛本 實	1、「久米島モデル」事業について	令和2年3月10日(火)
		2、第2次総合計画(基本計画)の後期計画について	
		3、観光振興について	

令和2年第2回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	東江 浩明	1、海岸漂着物の現状と今後処理対策について	令和2年3月11日(水)
		2、クリーンセンター焼却炉の現状と不燃ごみ対策について	
		3、コロナウィルス対応策について	
2	棚原 哲也	1、子育て環境の整備について	令和2年3月11日(水)
		2、仲里総合グラウンドの施設及び周辺整備について	
		3、銭田森林公園(風の帰る森)について	
		4、町長の平成31年1月及び令和元年11月外国出張について	
		5、沖縄の在来種アグー豚の隔離受け入れについて	
3	富永 肇	1、水銀灯及び蛍光灯(水銀の含有量などを十分に抑えてない)全廃止について	令和2年3月11日(水)
		2、全天候型陸上競技場について	
		3、施政方針について	
4	喜久村 等	1、景観条例について	令和2年3月11日(水)
		2、観光地の公衆トイレについて	
		3、町長の施政方針について	
5	赤嶺 秀徳	1、平成31年(令和元年)度施政方針について	令和2年3月11日(水)
		2、包括的連携協定について	
		3、パークゴルフ場の稼働状況について	
		4、防災無線について	

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	13幸地猛	第2次総合計画（基本計画）について（施政方針）	<p>1、前期基本計画の検証をするとあるが、これまで計画について検証は実施してこなかったのか。検証の方法について</p> <p>2、プラットフォーム、アーバンデザインセンターの立ち上げて「未来創造型まちづくり」の構築に取り組むとあるがどういうまちづくりをめざすのか問う。</p>	町長	<p>1、基本計画は5年の計画となっております。前期基本計画の最終年度であります令和2年度に検証を行い、検証結果を踏まえて後期基本計画の策定に取り組んでまいります。</p> <p>2、従来、行政や民間などの各主体がそれぞれの分野、立場で「まちづくり」や「経済活動」などの役割を担い、それなりの成果を導いてきました。しかしながら激変するグローバル社会への対応、差し迫る超高齢化社会、歯止めがかからない人口減少などマクロな視点での諸課題が山積しています。このような課題を解決するためには従来の枠組みにとらわれない推進体が必要であり、アーバンデザインセンターは、その役割を担い他地域とも連携して久米島が持続可能な地域となることを目指すものであります。</p>	企画財政課
2		海洋深層水施設増強について（施政方針）	<p>1、「久米島モデル」の実現について、これまでの取り組み状況と今後の見通しについて</p>	町長	<p>「久米島モデル」の実現につきましては、今年度行われた知事行政視察において、沖縄県知事に海洋深層水大規模取水管の新設に向けた推進会議への参画、連携、協力の要請を行い、県の担当部局と大規模取水管導入プロジェクト推進会議を開催しております。</p> <p>また、菅内閣官房長官と高橋防衛事務次官への要請や、民間主体では沖縄の経済団体を網羅した「海洋産業インフラ早期建設促進委員会」が発足しており、沖縄県への要請も行ってまいります。</p> <p>引き続き、県担当部局との推進会議を開催するとともに、官民が両輪で建設機運を醸成して国、県に働きかけるなど設備新設実現に向けた取り組みを展開してまいります。</p>	プロジェクト推進課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	13幸地猛	農林水産業の活性化について (施政方針)	<p>1、農業の振興について (1) 担い手農家を積極的に進めていくとあるが。現在の状況は。また、いつまで継続される事業なのか。 (2) 6次産業化に積極的に取り組むとあるが、これまでの取り組みと今後について。 (3) 担い手に農地集積を進めていくとあるが、これまでの取り組み状況と今後について。またその集積場所は。 (4) かぼちゃについて、産地パワーアップ事業の導入をするとあるが、その事業内容について。</p> <p>2、水産業の振興について 久米島モデルにおける海洋深層水活用した栽培漁業の振興、拡大を図るとあるが、新たな事業展開がなされていくのか。</p>	町長	<p>1、農業の振興について (1) 担い手農家について 人・農地プランで位置づけられた担い手農業者が158名となっております。新規就農者は平成25年度から個人20名、夫婦6組の計32名が給付を受けております。給付に係る年齢も45歳から50歳まで引き上げられておりますので、当分の間、事業は継続されると思えます。 (2) 6次産業について これまで、2件の6次産業化の実績があります。現在、2件甘しょを活用した6次産業化事業の相談がございます。 (3) 農地集積について 平成26年度より、集積面積で31件の33ha。配分面積で24件31haとなっております。今後も農地中間管理事業を活用して、久米島全域で事業を進めてまいります。 (4) 産地パワーアップについて 新年度に入ってから、県から町へ要望調査がございますので、今後、事業導入に向けた調整を進めてまいります。</p> <p>2、「久米島モデル」における栽培漁業の振興、拡大について、新たな展開の一つとして現在、サーモントラウトの陸上養殖を民間企業が東京海洋大学及び沖縄県海洋深層水研究所と共同研究を進めており生産技術が確立できれば、水温等の関係から沖縄において不可能とされるサーモン類の養殖により、地元の新たな産業の一つとなる可能性があると考えております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興課 ・プロジェクト推進課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	13幸地猛	商工・観光産業の活性化について（施政方針）	<p>1、観光産業の振興について</p> <p>（1）スポーツツーリズムの実施状況について</p> <p>（2）久米島版DMOとは、またその効果について</p> <p>2、交通の確保について</p> <p>（1）高速船導入のこれまでの取り組み状況について。また、施政方針にのっていないが。</p>	町長	<p>1. 観光産業の振興について</p> <p>（1）本町におけるスポーツツーリズムの実施については、「久米島マラソン大会」や「シュガーライド久米島」といったイベントの開催、プロ野球、アマチュア野球のキャンプ受け入れとなっております。</p> <p>観光振興基本計画でも施策として掲げており、本町で受け入れ可能な競技・時期の模索、受け入れ環境強化に努めながら、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>（2）久米島版DMOについては、観光協会・商工会・農協・漁協・組組の経済5団体で構成される一般社団法人で、地域経営を総合的に事業展開する事で、稼げる地域形成を目指し、本町の産業振興や経済発展、地域活性化を目標に取り組んでいます。</p> <p>また、アンケート調査や情報収集、課題の検証・分析等により、今後の地域経営を一層戦略的に推進してまいります。</p> <p>2、（1）高速船導入につきましては、平成28年度に町民等を対象にしたニーズ調査を実施しており、回答者の約9割が高速船導入は必要と答えていることから、町としても是非、実現したいと考えております。しかし、現在、県の高速船建造等の支援制度がないことや運航事業者が高速船の航路投入に慎重であることなどにより導入年度等が見通せない状況です。このような状況ですが、運航事業者との継続的な意見交換、県など関係機関への導入支援については引き続き要望してまいります。</p>	<p>・商工観光課</p> <p>・プロジェクト推進課</p>

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	13幸地猛	人材シルバーセンターの設立について	1、久米島における人材シルバーセンターの設立をして、高齢者の生きがい対策に取り組む必要があると思うが。	町長	本町としましては、シルバー人材センターの必要性は認識しておりますが設置については、いくつかのハードルがあると思われま。その地域の規模に応じた形態での設置が望まれますが、あくまでも行政が主導して設置するものではなく、NPO法人や一般社団法人などの民間事業者の参入が必要になります。当然ながら設置するだけではなく、適切な運営が必要になります。都市部や農村部での運営が異なり、一部の市町村では、自主財源で運営することが困難になり、多額の公費を投入して運営を続けているところもあるようです。幸いに本町では、多くの65歳以上の高齢者が、農業や漁業に従事しており、元気で活躍されています。本町としては、引き続き高齢者施策を展開しつつ、シルバー人材センターについては、民間が参入しやすい環境づくりを行ってまいります。	福祉課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	5宇江原総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>まず、本件について執行部に対する一般質問であるが、同時に町民に対する関心を高め、喚起の意味も含まれている。</p> <p>高度な放射線物質、放射能による環境汚染への無関心は罪であると、私は考える。</p> <p>特に将来ある子供達への影響には心痛める。</p> <p>本件の一つ目の質問は、前町長が議会や町民にうそやフェイントをかけて鳥島射爆撃場の20年間の契約をした。その後の契約の中味について、2013年6月の本会議で質問したところ、町長は「島の20年契約の中で、年一回の島の現状報告や意見交換を行っていることや10年後には、再度契約について、検討することになっている」と答弁している。</p> <p>町長に伺う。10年後とは何時の時期か。何処と協議するか。また、再度協議する事の内容はどんな事か。</p> <p>二つ目は、前町長等は本件射爆撃場の放射線物質は「問題ない」と答弁したが、次第にスライドさせ、ずらして内部被爆を求めた経緯がある。町長自身は内部被爆はあると考えているか。</p> <p>因みに当時の琉大の矢崎克馬教授は、新聞やホームページで「エアゾール化した劣化ウラン弾の放射能により、久米島はじめ慶良間諸島や沖縄本島も汚染されている可能性が高く、長期的にみれば原爆に劣らない環境汚染になる。また、高濃度のウランが検出されたが、米側は、その危険性を認めなかった。」と述べている。</p> <p>さらに劣化ウラン弾の場合、単発的な環境チェックで検出されるケースは低い。未回収の弾の事を考え、長期的な視点で考えれば、ウランが腐食して土壌に溶け出し、草木や周辺海域に何らかの影響を与えないとは言えない。」との見解やウランのエアゾール化の微粒子は、たばこの煙の20分の1とも言っている。</p>	町長	<p>一つ目の鳥島射爆撃場の土地賃貸借契約につきましては、平成24年5月15日に契約締結していますので、10年後は令和4年度となり、沖縄防衛局と協議する予定となっております。また、協議内容につきましては、予約締結同意書より、「契約の締結から10年経過後に鳥島射爆撃場の形状の消失が著しい場合には、幅広い視点から双方で協議することができる。」との内容となっております。</p> <p>二つ目の内部被爆につきましては、これまでの調査結果や町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると人体への被害は無いものと考えておりますが、劣化ウラン弾の影響につきましては、放射線測定を継続して行うなど監視を行ってまいります。</p>	総務課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	5宇江原総清	真泊の避難道路について	<p>2015年6月の定例会で私は「真泊の避難道路とソナミの公園化構想」を質問しました。一括交付金予算で真泊の避難道路等が7千400万円計上された。また、ソナミー帯の公園化構想はないかと、伺っている。</p> <p>本件は予算計上された避難道路にプラスアルファを加えたものがソナミー帯の公園化構想である。</p> <p>ところが町長の答弁として「避難道路を確保しても住民の待機場所等を確保する必要があるため、公園もしくは広場等の整備は必要であり、総合的に判断しながら整備について検討する。」として、避難道路と公園化をひっくるめての答弁となっている。</p> <p>ところが本件について、当時の総務課長が明確に追加答弁をしている。内容は、「進入路の整備にあたっては近くにありますが涙石、烽火台等も併せていけるような進入路の整備を今後、計画していく」としている。</p> <p>町長に伺う。</p> <p>当時の総務課長答弁のとおり、進入路を計画、実施していくのか。</p> <p>次に消防長に伺う。</p> <p>本件避難道路の登り終点はススキ等が繁茂して歩行困難である。夜間、10mの高波が避難道路に押し寄せた場合、負傷者や病人の救助活動はどうなるか。また現場の現地踏査をしていただきたい。</p>	町長	<p>進入路は必要と考えておりますが、真泊避難階段周辺が平成31年3月に土砂災害特別警戒区域の指定が行われており、今後の整備については同指定との調整や財政状況等をみながら判断してまいります。</p> <p>現時点での方針としましては、一時避難場所とし、津波等で避難した方の救助については、波が引いた後に救助することを想定しております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総務課 消防本部
8		島尻農村公園のトイレ改修について	<p>本件は、本年1月14日島尻区の区長から陳情書を町長あてに提出されているが、見通しはどうか。</p> <p>本件の陳情理由などから、同区の発展のため、是非実現をしてほしい。</p>	町長	<p>島尻区長から農村公園へのトイレの整備要望を受け、利用頻度や設置効果など多方面から検討しております。整備には多額の費用が見込まれますが、単費での対応は厳しい状況にありますので、補助事業において該当するメニューを模索する必要があります。</p> <p>既存のトイレについては、修繕不能な状態となっておりますので撤去の方向で検討しているところでございます。</p>	建設課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	5宇江原総清	世界自然遺産等の指定について	本町では、キクザトサワヘビ、クメジマボタル等世界的な貴重種動物の存在やこれらを守る自然環境がある。本町として、環境省や文部科学省所管の国定自然公園等及び世界自然遺産等の指定を受ける構想はあるか。あるとすれば、どのような手順で指定を受けようとしているのか。	町長	<p>国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定については、「国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領」に基づき、6つの要件（景観、規模、自然性、利用、地域社会との共存、全国的な配置）について必要な調査を行うとともに、指定計画書及び公園計画書を作成し、区域を指定及び公園計画を環境省で調査し決定する。そのことから今後国との意見交換を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、世界自然遺産の要件に合致するかどうかは、「既に環境省が検討済みとのことでした。久米島について絶滅危惧種や固有種の数については要件を満たしている可能性があるものの、規模要件について要件を満たしていると判断するのは難しいという結論に至る。」との回答でございます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全課 ・博物館
10	6吉永浩	平成31年度施政方針について	町の基本方針や主要施策等が示された今年度の施政方針。 今年度取組みの評価と成果を伺う。	町長	平成31年度の施政方針で掲げた事業につきましては、一部、県事業との絡みで延期を余儀なくされた事業があるものの、おおむね計画どおりに実施できたものと考えております。	企画財政課
11		第2次総合計画について	令和2年度施政方針でも触れているが、令和2年度が第2次総合計画の前期計画終了年度となっている。 進捗を検証し、後期計画の策定に取り組むとあるが、現時点での評価と年度内のスケジュールを伺う。	町長	<p>前期基本計画の評価・検証は令和2年度に実施する予定であります。</p> <p>スケジュールについては、4月から翌年3月までの1年かけて取り組む予定としております。</p>	企画財政課
12		久米島町まち、ひとしごと創生総合戦略について	2014年「まち、ひとしごと創生法」が成立し、地方創生がはじまった。 人口ビジョンを掲げ、その実現のため、本町においても、総合戦略を策定している。そして、令和2年度は総合戦略の終了年度となっている。評価と成果を伺う。又、第2期に向けた取り組みを伺う。	町長	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、本町の総合計画を基軸として策定しており、前期の終了年度となる本年度で本格的な検証をおこないます。検証結果による課題等を抽出し、第2期計画として取り組むべき課題として掲げていきたいと考えております。さらに平成27年度に策定した創生総合戦略における「久米島町人口ビジョン」の人口推計は予測どおりとなっていることから第2期に向けては第1期で取り組めなかった具体的施策も含めて着実に実施してまいります。	企画財政課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	6吉永浩	農業担い手助成について	本町における新規就農者の状況を伺う。又、今後、島内で農業若い担い手を増やす為に、どのような取組みを推進していく考えか伺う。	町長	平成25年度より個人20名と夫婦6組の計32名が給付を受けております。令和2年度におきましては、5名の給付対象者がおります。今後の取組みにつきましては、FMくめじま・町広報誌・産業まつりでの広報等で推進してまいります。	産業振興課
14		清掃等作業員の労働時間と業務内容について	町民から環境保全課の環境美化作業に対する指摘があったと思う。作業員の労働時間と業務内容について、改めて説明を求める。又、他市町村における業務時間、業務内容との比較も伺う。	町長	勤務時間は8:30から17:00までの7.5時間でございます。 町民から勤務時間内の行動に誤解を招かないよう徹底してまいります。業務内容は草刈り及び清掃作業として道路、県立自然公園4箇所、その他公園10箇所、トイレ清掃を11箇所行っております。また、各種イベントの準備片付けを行っています。 県道、町道等、植栽樹への花の植え付けや枯れ木の撤去を実施しています。他市町村では直営での草刈り賃金の勤務時間及び賃金はほぼ同じでございます。	環境保全課
15	10真栄平建正	赤土対策について	赤土流出防止対策マスタープランの推進組織の構成、推進会議開催状況。 重点対策地区指定の2地区における土木の対策計画と実施状況	町長	推進組織の構成は、会長に産業振興課長、構成員に営農関係者・土地改良関係者・環境関係者で構成されております。推進会議につきましては、開催されておられません。 次に、赤土流出防止対策マスタープランに基づき町が実施する赤土等流出防止対策に関する土木の対策については、沈砂池及び排水路の整備、ベチバーの植栽による耕土流出対策工事を仲里地区、比屋定地区において実施しております。令和2年度から新たに清水第1地区において沈砂池及び排水路による耕土流出防止対策工事に着手しますが、隣接する清水第2地区においても耕土流出対策工事の実施設計を行う予定でございます。	・産業振興課 ・建設課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
16	10真栄平建正	観光振興について	久米島観光振興基本計画における振興委員会と推進ワーキングの構成、役割、会議開催状況。	町長	<p>観光振興基本計画における「振興委員会」「推進ワーキング」については、計画策定委員会、ワーキングを継続する形になり、構成メンバーについては委員会が学術研究団体、経済5団体、区長会、青年団協議会、町議会、町、ワーキングが学術研究団体、町内産業・観光関係団体、町内事業者、町となっております。</p> <p>それぞれの役割については、委員会が「実行体制の決定」「進捗確認」「成果の評価」「計画の見直しや廃止の決定」、ワーキングが「推進主体の設定」「協働した取り組みの実行」「状況把握や委員会への報告」「取り組みの改善」となっております。</p> <p>本年度の会議については、合同会議を1回、ワーキングを1回開催しております。</p>	商工観光課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
17	10真栄平建正	施策方針について	<p>海洋深層水について活用した「久米島モデル」の実現への取組みとあるが、事業化の進捗状況は。</p> <p>国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム態勢強化の具体策を。</p> <p>高速船導入についての方針が示されていない何故か、今後の取組みは。</p> <p>久米島のリーディング産業の位置づけとその振興策は。</p>	町長	<p>「久米島モデル」の事業化への進捗状況につきましては、県の担当部局と大規模取水管導入プロジェクト推進会議を開催しております。</p> <p>引き続き、県担当部局と海洋深層水大規模取水管の新設に向けた推進会議を開催するとともに、官民が両輪で建設機運を醸成して国、県に働きかけるなど設備新設実現に向けた取り組みを展開してまいります。</p> <p>平成26年7月に「国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム」が産官学金連携のもと協議会が発足され、これまで取水管新設に向けた様々な取組みを行ってまいりました。引き続き、産官学金連携強化に取り組んでまいります。</p> <p>高速船導入につきましては、平成28年度に町民等を対象にしたニーズ調査を実施しており、回答者の約9割が高速船導入は必要と答えていることから、町としても是非、実現したいと考えております。しかし、現在、県の高速船建造等の支援制度がないことや運航事業者が高速船の航路投入に慎重であることなどにより導入年度等が見通せない状況です。このような状況ですが、運航事業者との継続的な意見交換、県など関係機関への導入支援については引き続き要望してまいります。</p> <p>本町のリーディング産業ともいえる海洋深層水利用産業は年間売上約25億円、雇用約140人（平成27年度）を生み出す産業に発展しております。この売上額は本町の農業生産額全体と肩を並べるまでに成長しており、本町産業の柱の一つとなっています。深層水利用産業を経済の発展基盤として地方創生総合戦略の中核に位置付けるとともに深層水を水産業、製造業、サービス業、エネルギー利用など総合的に利用する取り組みを推進してまいります。</p>	プロジェクト推進課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18	10真栄平建正	出張時の法人マイレージ導入について	導入可能か。 まず海外、県外出張への導入検討を。	町長	法人マイレージにつきましては、クレジット機能があるため導入できないと考えています。 マイレージの取扱いにつきましては、本町の旅費制度は国、県の取扱いを基本としておりますので、今後とも国、県及び他市町村の取扱いも十分研究しながら、対応していきたいと考えています。	総務課
19	7新垣幸子	乳幼児期の教育の質の向上について	保護者や地域の方は、保育士が子どもの気持ちに気づき、可能性や能力を引き出せる質の高い保育を目指してほしいと願っている。 福祉課による研修会でも、参加自由ですが、全職員が参加し、情報共有を行い、実行してみる事が大切である。 この保育・幼児教育が人を創り、国を創り、社会を創り、未来を創っていく仕事であることを保育者・保護者が大切に考えてほしい。町全体の乳幼児期の教育の質の向上のためにどうすれば良いか。 公立保育所の役割は大きいし、保育所が本気になってみんなで考えなくてはならない課題であるが、見解を伺う。	町長	幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、今年度においては、町内保育所（園）を対象に各種研修会を実施しております。また、できるだけ多くの保育従事者が受講できるよう島内での開催、勤務時間外に開催しております。次年度においても、島外で開催される研修以外に研修目的に合わせた研修会を島内で開催し、保育従事者の資質向上に努めてまいります。	福祉課
20		ファミリーサポートの活動の向上について	まかせて会員としての資格を取得している方がいるにもかかわらず、活発な活動や利用者が少ない。活動が活発になるように願っているが、何がネックになっているか。 再検討が必要だと思うが、見解を伺う。	町長	ファミリーサポート事業については、平成30年度よりスタートし、子どもを預ける「お願い会員」と子どもを預かる「まかせて会員」、両方ともできる「両方会員」で子育て支援を行っており、会員の登録数も増えております。今年度の利用者につきましては、利用者のニーズに沿った事業運営となっております。引き続き、「まかせて会員」の講習会の実施、対象者への周知を広げて気軽に利用できる環境づくりに努めてまいります。	福祉課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21	7新垣幸子	認定こども園移行について	令和4年4月に「幼保連携型認定こども園」へ移行実施とあるが、進捗状況について伺う。また、幼稚園管轄の教育委員会とも十分な協議がなされているか。それから、保護者への周知やアンケート実施、話し合いが実施されているか。	町長	認定こども園整備計画においては、令和元年度に基本設計、令和2年度に実施設計、令和3年度に建築工事、令和4年度に開園の予定となっています。今年度につきましては、認定こども園整備計画に基づき園舎の規模を決定して基本設計を実施予定でありましたが、園庭を含めた整備の必要性が協議され、園庭の用地買収の確約と最終的な整備方針を決定するまでに時間を要するため、令和2年度へ繰越す予定であります。また、教育委員会との連携については、令和2年度から幼稚園教諭、保育士の事務協議を行っていく予定をしております。整備計画については、平成29年度に町内保育所（園）に入所（園）している保護者へのアンケートを実施し、整備を進める基礎資料としております。	福祉課

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
22	7新垣幸子	儀間地区農道の整備 について	<p>五箇所の未舗装農道がありましたので、舗装は可能か。</p> <p>①北上野（儀間から島尻へ行く通り。）に5名の方の畑があるが、そのうち4名の方がキビ運搬車が乗り入れすることに難色を示した為、畑を放棄している。（入口から中に入った所までコンクリート貼りを要望する。）</p> <p>②大ジセ原の通りで雨で流されて、陥没している。町に長年修復するよう要望しているが、カラーコーンを置いたまま放置状態である。隣接する畑も浸食しているので、早急な対応を要望する。</p> <p>③大ジセ（イザー原）の通りで、道路右片側は舗装されているが左片側は凹凸があり割れている。</p> <p>④大石原の通りで、反対側の側溝が割れて穴ができている。また、側溝も途中までとなっている。</p> <p>⑤嘉陽田原の通りで、大雨で流されて凹凸が激しい小道になっている。側溝がなく、大雨後は、石ころやじゃり等が畑の中央まで流されるため、さとうきびの成長や管理、きび刈り作業に大きな支障をきたしている。反対側の側溝も浅く大雨を対処しきれず農道や畑に流れ出してくる。合流する所も全然機能を果たし切れていない。側溝を作り変えたり、農道をアスファルトにするなど大規模な工事を要望する。</p> <p>⑥北上野（儀間から島尻へ行く通り）を左に300m行った先に畑がある。 その辿り着く道が雨で流されて凹凸が大きい為、ベースやコンクリート舗装を個人で行っていた。 個人で舗装するには、限界がある。 5～6年前までは、製糖期前に、再生材の材料や車の手配等、役場から予算がありました。近年はそれが無い為、これまで通りに予算確保を強く要望する。</p>	町長	<p>6箇所の農道の状態について確認してまいりました。農道含む道路及び付帯施設の補修については、毎年度、多数の要望がございますので、状態を確認しながら予算の範囲内において緊急性・安全性などを勘案しながら優先順位により対応しております。</p> <p>②大ジセ原、⑤嘉陽田原については、道路及び構造物等の状況から大掛かりな対応が必要と思われませんが、現在、道路整備・改良事業に該当する補助事業がございませんので、別事業において対応可能なメニューを模索してまいります。</p> <p>残り4カ所の要望箇所については、新年度以降において、各字から要望が出る補修箇所を含め、全体の中において検討する必要があります。また、補修等に関する費用は、公金の性格上、道路として認定されていない箇所や個人有地等については対応しておりません。</p> <p>製糖期前に町から材料の提供、車両に関する予算については、いつ頃まで実施されていたのか確認が取れておりませんが、農道の維持管理に関しては、町のほか「多面的機能支払交付金」による活動の支援がございます。儀間地区においても「儀間地域資源保全の会」において、毎年、地区の農道管理について計画を立て活動しております。活動内容、範囲については制限等もございますが、修繕を要する農道が対応できるか検討することができます。</p>	建設課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
23	7新垣幸子	キャリア教育について	児童生徒が社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育ですが、現在の具体的な取組内容や成果と課題及び対応について伺う。	教育長	<p>本町では平成24年度から産学官地域が連携した「久米島町グッジョブ連携協議会」を設置し、本町の課題解決に特化した活動を展開しています。</p> <p>久米島町型キャリア教育とは、子どもたちの発達段階に合わせた教育学習の視点とこれからの久米島町の町づくりの視点を合わせた早期からの地域人材育成です。主な内容として、小学校の職場見学、中学校の職場体験と成長段階に合わせた教育を行っています。</p> <p>また、「わくわくワーク」では小学校低学年児童から島内外の多種多様な職業を体験し、リーダー育成プログラムの「kumejiman隊」では久米島の良さを発見するなど充実した内容を通して児童生徒のキャリア発達を促しています。</p> <p>今後もよりよい連携を図りながら継続して取り組めます。</p>	教育課
24		児童生徒のいじめや不登校等について	現在の状況とその対応について伺う。	教育長	<p>いじめにつきましては、令和2年1月末時点で認知件数を前年度と比較すると小中ともに増加しております。これは「いじめの積極的な認知」の結果だととらえています。</p> <p>各学校では毎月のいじめアンケートの実施により未然防止、早期発見・対応に努めており、いじめの解消につなげています。</p> <p>不登校数につきましては、小学校、中学校ともに前年度と比較するとそれぞれ減少しております。</p> <p>不登校児童生徒が在籍する学校では、生徒指導校内委員会で情報交換を行い、対応策について話し合い、スクールカウンセラーの助言を受けながら、児童生徒の登校復帰に向けた支援を行っております。</p>	教育課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
25	2盛本實	「久米島モデル」事業について	町長は就任以来、施政方針の冒頭には必ず、海洋深層水などの自然資源を活用したまちづくり施策「久米島モデル」の実現に向けて取り組んでまいりますと述べていますが、この事業の現在の取り組み現状と今後の計画及び課題について伺う。	町長	「久米島モデル」への取り組み状況につきましては、県の担当部局と大規模取水管導入プロジェクト推進会議を開催しております。 引き続き、県担当部局と海洋深層水大規模取水管の新設に向けた推進会議を開催するとともに、官民が両輪で建設機運を醸成して国、県に働きかけるなど設備新設実現に向けた取り組みを展開してまいります。 今後の計画につきましては、概算要求に対する事業計画書（案）の策定及び国、県との調整を進めてまいります。課題につきましては、予算確保が一番の課題となりますので、引き続き国、県と調整を進めてまいります。	プロジェクト推進課
26		第2次総合計画（基本計画）の後期計画について	今年度で第2次総合計画（基本計画）の前期計画期間が終了年度となることから、前期計画の進捗状況を検証しながら課題抽出を行い、後期計画の策定に向けて取り組む。後期においては、計画実現に向けて久米島町全体を俯瞰して諸課題を結びつけ、生活や経済の基盤をつくる、公・民・学連携のプラットフォーム、アーバンデザインセンター（UDC）を立ち上げ「未来創造型まちづくり」とはどの様なまちづくりなのか具体的に説明をして頂きたい。	町長	未来創造型まちづくりについて、従来、行政や民間などの各主体がそれぞれの分野、立場で「まちづくり」や「経済活動」などの役割を担い、それなりの成果を導いてきました。しかしながら激変するグローバル社会への対応、差し迫る超高齢化社会、歯止めがかからない人口減少などマクロな視点での諸課題が山積しています。このような課題を解決するためには従来の枠組みにとらわれない推進体が必要であり、アーバンデザインセンターは、その役割を担い他地域とも連携して久米島が持続可能な地域となることを目指すものであります。	企画財政課
27		観光振興について	近年、修学旅行の入り込み数が激減しているようですが、本町の観光施策の中で修学旅行の位置付けと今後の取り組みについて伺う。	町長	修学旅行の直近実績は、平成27年度以降、6校、11校、9校、7校、4校となっております。 修学旅行を含む教育旅行については、夏場の観光入域ピーク外における有力な誘客施策として、担い手である観光協会へ業務委託を行い、「体験プログラムの開発」「民泊環境の構築」「学校や旅行会社への訪問」「担当者の招聘」「旅行費用の一部助成」等、推進し取り組んでまいりました。 第2次観光振興基本計画においても、重点項目「夏のピーク期以外の観光の充実」において施策として掲げており、観光協会と連携しながら減少課題をしっかりと検証・分析し、引き続き取り組んでまいります。	商工観光課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
28	11東江浩明	海岸漂着物の現状と今後の処理対策について	(1) 久米島海岸漂着ごみの年間量調査状況は。 (2) 回収処理事業の現状は。	町長	本事業は、沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金を活用して、平成30年度に久米島周辺海岸20kmの調査を基に計算されました。久米島海岸漂着ごみ推計値は、584立方メートルとなっております。 また、平成30年度の回収処理実績は、事業費3,920千円、回収ごみ量は3トン33立方メートルとなっております。 今後とも久米島周辺海岸管理者の沖縄県とも連携して、久米島町の海岸漂着ごみの除去活動を実施するとともに、漂着ごみを、いろいろな視点から分析し、島内小中高生及び一般町民に対しての環境教育に取り組みます。また、ボランティア団体等への海岸ごみの分別徹底を図るとともに啓発活動も推進してまいります。	環境保全課
29		クリーンセンター焼却炉の現状と不燃ごみ対策について。	(1) 現在、2基の焼却炉があると聞くと、稼働状況は。 (2) 廃プラスチック処理状況は。 (3) 不法投棄回収状況、又今後の取締方法は。	町長	当該施設は、平成2年1月に建設された施設であり、これまで、2回の施設等整備工事を実施しましたが、経年劣化が著しく、現在、1号炉が平成31年4月に故障が発生し、これまで停止している状況でございます。また2号炉については稼働しておりましたが、令和2年2月10日から3月20日までの期間、煙突のダクト修繕工事を実施しておりますので、その期間は、1号炉及び2号炉において停止していません。 廃プラスチック処理は平成30年度実績7,400kgを公益財団法人日本容器包装リサイクル協会に委託して適正に処理しております。不法投棄回収状況は平成30年度は690kgおもに家電四品目19台処理してございます。今後も引き続き監視員の巡回と各字区長、警察、行政で連携し監視・行政指導を行ってまいります。	環境保全課
30		コロナウィルス対応策について	(1) 久米島内での感染者対応策について。	町長	令和2年2月14日に沖縄県において新型コロナウイルス感染症患者の発生が確認されたことに伴い、本町では2月18日に臨時庁議を招集し、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、感染予防対策を徹底するよう確認を行っております。	福祉課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
31	8 棚原哲也	子育て環境の整備について	町内の公的施設等、主要な施設へベビーチェア及びオムツ交換台の整備の必要性が多くの子育て世代の声として上がっている。改善された場所はあるか。	町長	平成31年3月議会において、棚原議員からの質問後、仲里庁舎に設置できないか検討しましたが、未だ実現できておりません。設置可能な個所については計画的に取り組んでいきます。 なお、改善個所につきましては久米島空港内トイレにベビーチェア6基を設置しております。	総務課
32		仲里総合グラウンドの施設及び周辺整備について	仲里総合グラウンドは早朝及び夕方は多くの町民が健康づくりの為に利用している。外周が暗く利用し辛い状況にある。 ①外灯の数を増設する考えはないか。 ②管理棟横の砂場で沖縄角力の練習をしているが、移設して道場を整備する考えはないか伺いたい。 ③県道とグラウンド敷地の境界フェンスが、県道の整備に伴い撤去されたがフェンスを再設置する考えはないか。	町長	①外灯については、厳しい予算の状況ではございますので暗い個所から追加設置したいと考えております。 ②現在のところ整備の計画はありませんが、沖縄角力は中学校の体育の授業で取り入れており、技能や行事の継承を促進していく必要があると考えていますので、今後、関係者と意見交換を行い角力場の整備について検討してまいります。 ③フェンスの設置については、予定しておりません。	・環境保全課 ・教育課
33		銭田森林公園（風の帰る森）について	①施設の最終的な整備完了の時期は。 ②整備完了後の施設の運営方法について伺いたい。	町長	①について、建物施設は完了しておりますが、進入道路下への電線埋設工事や駐車場整備時に出土した大きな岩の削岩等に期間を要しているため施設供用開始は4月下旬を予定しております。 ②について、指定管理者方式による運営方法及び管理を予定しております。	プロジェクト推進課
34		町長の平成31年1月及び令和元年11月の外国出張について	国名及び、出張の目的等を伺いたい。	町長	平成31年1月につきましては、高速船導入検討の目的で3泊4日の日程で香港の視察を行いました。 令和元年11月につきましては、サンゴ礁保全再生活動のモデル事業の一環で4泊5日の日程でパラオ共和国の視察を行っております。	総務課
35		沖縄の在来種アゲ豚の隔離受け入れについて	純粋アゲ豚の本町への隔離受け入れが、町有施設又は民間の施設を活用して可能なのか伺いたい。	町長	JA所有の旧久米島養豚団地が、平成29年12月まで県外導入豚一時繋留施設をして使用されておりましたので、県畜産課から隔離の施設として改修して活用できないか、2月12日に調査に来ております。	産業振興課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
36	3富永肇	水銀灯及び蛍光灯（水銀の含有量などを十分に抑えていない）全廃止について	<p>2013年10月に行われた国連環境計画の外交会議にて水銀による環境汚染を防止する目的で水銀に関する水俣条約が採択されました。</p> <p>水銀や水銀を含む化合物の人為的な排出から人の健康被害や環境汚染を保護する目的で定められた国際条約です。日本政府も水銀による汚染防止に関する法案を2015年3月10日に閣議決定し、2020年には水銀を使った製品の製造、輸出、輸入が原則禁止になります。</p> <p>①久米島町施設、校舎等で水銀灯を使用している箇所及び個数はありますか。</p> <p>②水銀灯廃止について対策は行うか。</p> <p>③水銀灯に変わる照明としてLED照明に移行が可能か。伺います。</p>	町長	<p>①水銀灯を使用している箇所及び個数については把握しておりません。</p> <p>②③水銀灯廃止についての対策は、設備の更新の都度LED照明に更新しておりますが、今後は計画的に取り組む必要があると考えております。</p>	総務課
37		全天候型陸上競技場について	<p>これまでも長年、全天候型陸上競技場計画は議会でも一般質問されました。また子供議会でも質問されています。答弁として全天候型陸上競技場の計画については、基本調査を実施するとありますが、どのような結果か伺いたい。</p>	町長	<p>陸上競技場施設については平成28年度に基礎調査をおこなっております。町民へのアンケート並びに各種競技に精通している方々への意見聴取も実施しており、結果といたしましては、400mトラックの全天候型はニーズはあるものの、類似施設を有する他自治体と比較しますと、人口規模及び人口減少が続いている本町においては過大施設となること、並びに使用料や維持費などの収支を考えますと大きな財政負担となりますので、現行施設の改修等による全天候型への移行について多角的に検討を行ってまいります。</p>	企画財政課
38		施政方針について	<p>令和2年度施政方針 3の(1)学校教育の充実にあります教職員の長時間勤務の実態から、これまでの働き方を見直し、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、国や県が推進している学校における働き方改革について、久米島町教職員の働き方改革推進計画を策定とありますが、久米島町の教職員の勤務環境業務負担等の実態はどうか伺う。</p>	教育長	<p>本町では、ICカードを利用した出退勤管理を今年度6月から開始し、実態の把握に取り組んでいます。各学校からのデータが出そろった2学期間の状況をみますと、勤務時間外に月30時間以上在校している教職員の割合が、小学校で66.2%、中学校で71.4%となっています。また、1月末に示された国の指針の時間外等在校時間の上限である45時間を超え在校している教職員の割合は、小学校で33.1%、中学校で42.9%となっております。2学期は主要な学校行事があるため割合多くの教職員が時間外に在校していると推測されます。</p>	教育課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
39	1喜久村 等	景観条例について	本町において、景観条例に指定されている所はどこか。 地域と場所を伺う。美崎地域に対しては詳しく、説明をお願いします。	町長	久米島町景観条例に基づき、久米島景観計画を策定しております。計画では、久米島の景観特性を活かし、各地域にみられる多種多様な景観要素の保全、創出を図るため、町全域を景観計画区域とし、一般地区と景観形成重点地区とに指定しております。 美崎地区は重点地区に位置づけされておりますが、同地区においては、①フクギ屋敷林や生垣、②フクギや生垣の剪定方針、③瓦屋根のある伝統的集落の景観、④御嶽や拝所などの歴史・文化、⑤歴史的建造物や祭事が行われる空間、⑥久米島紬の歴史・文化・風景、⑦伝統的な祭りなどの7項目について保全・修景に努めるとしております。	建設課
40		観光地の公衆トイレについて	公衆トイレの和式から洋式トイレに改修工事はできないか。 又、仲里間切の蔵元の隣に公衆トイレがあったが、現在はなく不便を感じている。 新たな公衆トイレを造る事はできないか。	町長	観光施設等の公衆トイレについては、平成30年度に状況調査を行いました。約100の大便器があり、洋式率は65%となっております。 本年度に更新事業として国庫補助事業を模索し申請しましたが、要件等に合致せず採択に至りませんでした。 令和2年度以降、引き続き国庫事業等での財源活用を模索しつつ、町財源も確保しながら、年次的に洋式トイレへの更新に取り組んでまいります。 蔵元のトイレについては、平成23年頃に当時の真謝区長より、(1)トイレが不法投棄やゴミ捨ての場所になっている(2)観光客の利用もない(3)少年野球等の子供達も学校のトイレを使用している(4)ゲートボールの老人の方々も利用していない(5)地域としても利用しない等の事由から、早めに町の方で撤去して欲しいとの要望があり、撤去しております。撤去に至った経緯からも、町として設置する計画はありません。	商工観光課
41		町長の施政方針について	農業の振興について、ハーベスタ及び株出管理作業機械を導入し、刈り取り作業及び肥培管理作業の機械化を推進します。とあるが本年度は、ハーベスタ何機と株出管理作業機械は何機の導入を予定しているか伺う。	町長	令和2年度導入に向け、ハーベスター3台、株出管理作業機4台を申請しております。	産業振興課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
42	4赤嶺 秀徳	平成31年(令和元年)度施政方針について	平成31年(令和元年)度の町長の施政方針がありました。その成果について伺う。	町長	平成31年度の施政方針で掲げた事業につきましては、一部、県事業との絡みで延期を余儀なくされた事業があるものの、おおむね計画どおりに実施できたものと考えております。	企画財政課
43		包括的連携協定について	町は、昨年10月29日、JALグループ3社(日本トランスオーシャン航空・琉球エアコミューター・日本航空)との包括的連携協定を締結しました。3点について伺う。 (1) 航空会社3社にはどのようなメリットがあるか。 (2) 町の意図する狙いは何か。 (3) 町にはどのようなメリットがあるか。	町長	久米島町とJALグループが締結した包括的連携協定は、久米島町の地域振興に寄与することを目的としております。 (1)の航空会社のメリットについては、地域振興等への協力など社会貢献による企業価値の向上が図られること。(2)、(3)の町の意図、メリットについては例として久米島マラソン等、地域イベント開催の度に主催者側から臨時便など輸送力増強の依頼を行ってきましたが、協定を締結することは、さまざまな場面で迅速かつ緊密な連携が可能となるなど、地域活性化への貢献が期待できると考えています。	企画財政課
44		パークゴルフ場の稼働状況について	パークゴルフ場の稼働状況について3点伺う。 (1) パークゴルフ場全体の稼働状況について (2) 稼働状況からして経営は順調か。 (3) 避難所の現在の状況と今後の利用計画について	町長	当該施設は、災害時における広域避難場所として位置づけ、迅速な被災者の保護、災害復旧支援のための拠点づくりを形成し、平常時には、島民の憩いの場や健康増進を図る場として多目的公園を整備したものでございます。 平成30年度における利用者数はパークゴルフは22,307名でございます。 直接経費の収支は赤字となっておりますが、町民の健康増進も図られております。また観光客等の利用者が宿泊し各大会に参加いたしますので、その経済効果がかなりございます。 そのことから、町民及び観光客等から喜ばれている施設と考えております。 休憩所については、各種大会や修学旅行生が利用しております。平成31年4月から令和2年1月まで24回1,301名の皆さんが利用しております。今後とも利活用については広報の強化をし利用率の向上に努めてまいります。	環境保全課

令和2年3月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
45	4赤嶺 秀徳	防災無線について	<p>平成30年6月議会に於いても質問した。その際の答弁では、5自治体が平成31年度の新規採択を要望しており、予算の平準化を図り事業期間を4年間とする。と答弁でした。2点について伺う。</p> <p>(1) 事業の進捗状況について</p> <p>(2) 現在の防災無線の雑音の対策は出来ないか。又、町民からの苦情はないか。</p>	町長	<p>(1) 事業の進捗状況につきましては、令和元年度に実施設計、令和2年度から令和4年度に設置工事を行います。</p> <p>(2) 防災無線の雑音につきましては、町民や区長から苦情がありました。機器の点検や調査を行っておりますが、原因が特定できておりません。早めに原因究明を行い対処してまいります。</p>	総務課